

承認番号	
研究課題名	食道裂孔ヘルニア・胃食道逆流症の外科治療の全国実態調査 —本邦における手術適用・手術術式の提案に向けて—
研究の意義・目的	本研究の目的：食道裂孔ヘルニアの本邦における外科治療の実態を調査して、病態、手術方法、手術成績について現状を明らかにする。食道裂孔ヘルニアに関連する胃食道逆流症の外科治療の実態も明らかにする。最終的に、両疾患に対する適切な手術適用と手術術式を提案する。 本研究の意義：本研究は本邦における初めての实態調査であり、日本人患者に対する適切な手術適用と手術術式を提案することが期待できる。
研究を行う期間	倫理委員会承認後から2019年12月31日
研究対象者の範囲	2001年1月1日～2015年12月31日に大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科で、食道裂孔ヘルニアの手術をされた方が対象です。
お願いする内容	他の施設が共同研究の代表施設として研究いたします。 検査データ、診療記録を研究代表機関へ送付します。
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形でへ提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	東海大学医学部外科学系消化器外科学 教授 小澤壯治
この研究を行っている施設（共同研究機関）	日本食道学会の食道科認定医所属施設（研究責任者：東海大学医学部外科学系消化器外科学 教授 小澤壯治）
代表施設のURL	東海大学医学部外科学系消化器外科学
研究の成果を公表する方法	学会発表および論文
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学 消化器外科 豊川貴弘 連絡先：06-6645-3838